

思い出の曲で元気に



思い出の曲を聴いて、周囲に歌うよう手を動かして促す女性
11月、栃木県佐野市（エコロジーオンライン提供）

認知症ケア、栃木のNPO

思い出の曲を聴くことで
認知症の高齢者に自分らし
さを取り戻してもらおう
。こんな支援の取り組み
を、栃木県佐野市のNPO
法人「エコロジーオンライ
ン」（上岡裕理事長）が試
験的に進めている。

「ミュージック・アンド

・メモリー」と呼ばれるプ
ログラムで、介護施設など
で暮らす認知症の高齢者ら
に、若いころ慣れ親しんだ
曲を携帯音楽プレーヤーで
1回30分〜1時間、週に何
回か聴いてもらう。米国の
NPOが推進しているが、
日本で実施している団体は

なかった。

エコロジーオンライン
は、栃木県内で介護老人保
健施設などを運営している
医師、松永安優美さんの協
力を得て、4施設の計6人
を対象に10月から3カ月間
のパイロット事業を続けて
きた。

松永さんは「4人の方に
元気が出たり、食事を全部
食べるようになったりとい
った変化があった」と説明。
音楽の教員だった97歳の女
性は戦前の唱歌を聴くと、
指揮を始めたたり、施設のス
タッフに歌うよう促したり
することがあったという。

エコロジーオンライン
は、来年以降は愛知県や沖
縄県などにも活動を広げる
方針。上岡理事長は「日本
型のミュージック・アンド
・メモリーをつくること
で、認知症の方の介護で悩
んでいる人たちの役に立ち
たい」と話している。